

皆様がお互いに演奏会をお楽しみいただくためにご協力をお願いします。

♥お互いの安心のためにマスクの着用を

ご自身のためにも、周囲の人々のためにも会場内ではマスクの着用をお願いします。
健康上の理由等によりマスクの着用が困難な場合は、予め会場係員にお申し出ください。

♥社会的距離を保つため指定された座席に

チケットに記載されている座席にご着席ください。
周囲に不安があり、座席の変更を希望される場合は、会場係員にご相談ください。

♪開演前に携帯電話、時計のアラーム音などは OFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず OFF にして下さい。

♪補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、きちんと装着されているか、音量設定が大き過ぎないか今一度お確かめ下さい。
音量の設定が大きい場合、ノイズが発生することがあります。

♪録音・録画・写真撮影は禁止です

♪演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴などの包み紙を開ける音は思っている以上に会場内に響いています。
のど飴は演奏開始前にお口の中へ入れておきましょう。

♪演奏中はお静かに

手荷物や携帯電話等に付けている鈴の音、ビニール袋の音も会場内に響きます。カバンの奥の方に入れておきましょう。

♪周囲の視界を遮るような行為はやめましょう

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い帽子、高さのある帽子は脱いでご鑑賞下さい。
また、足や体全体でリズムをとることも隣のお客様には気になりますのでご注意ください。

♪開演後の入場を制限させて頂きます

係員がご案内するまでお待ちください。既に演奏をお楽しみになつていらっしゃるお客様のためにご協力をお願いします。

次の定期公演は・・・ 第 64 回【東京】2021 年 3 月 19 日（金）19 時開演

三鷹市芸術文化センター 風のホール

当初第 63 回定期公演に予定したプログラムを再構成してお送りします。

ハイドン：交響曲第 49 番「受難」ではじまり、シンフォニエッタ 静岡が初演した、長谷川勉：弦楽のための 2 つの楽章を再演します。後半は、モーツァルト：アダージョとフーガ KV546 とシンフォニエッタ 静岡のメンバー（オーボエ 池田肇、クラリネット 郡尚恵、ホルン 月原義行、ファゴット 神山純）がソリストとして登場する、モーツァルト：協奏交響曲 KV297b をお届けします。

来シーズン（2021/2022）定期公演について

本来であれば 10 月中旬に翌シーズンの定期公演の日程、プログラムを発表するところですが、東京オリンピック・パリンピックの開催、新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインが文化施設によって異なり、これまで通りの演奏会を開催するには制約が多いことなどから、計画を進めることが出来ていません。詳細が決まり次第ホームページ等で発表しますので、しばらくお待ちください。

シンフォニエッタ 静岡 事務局 静岡県焼津市小土 226-13 ☎054 (204) 7778

シンフォニエッタ 第 61・62・63 合併号 2020 年 9 月 27 日 発行
定価 200 円（消費税込）

！シンフォニエッタ 静岡

Sinfonietta Shizuoka, JAPAN

芸術監督・指揮者 中原朋哉

【静岡・焼津】名曲コンサート

2020 年 9 月 27 日（日）14 時開演 焼津文化会館 大ホール



令和 2 年度文化庁芸術祭参加公演

【大阪】第 62 回定期公演（第 1 回関西定期公演）

2020 年 10 月 15 日（木）19 時開演 住友生命いずみホール

【東京】第 63 回定期公演（第 10 回東京定期公演）

2020 年 11 月 4 日（水）19 時開演 サントリーホール ブルーローズ

感染症対策に関するおねがい

お客様には不愉快に思われるかもしれませんが、感染症対策を徹底することで演奏会の開催を許可されている公演もあります。申し訳ありませんが、どうぞご理解下さいますよう、お願い申し上げます。

♥お客様同士の安心のためにマスクの着用にご協力をお願いします。健康上の理由からマスクの着用が困難な場合には、すみやかに会場係員にお申し出になり、係員の指示に従ってください。

♥客席と舞台の距離を確保するため、客席前方には立ち入らないようお願いいたします。

また、開演前、休憩時間、特に終演後の出演者との面会（楽屋口での出待ち）はご遠慮ください。出演者の家族、友人、熱烈なファンであっても、そうでなくとも楽屋エリアへの立入りはご遠慮ください。

♥客席、ロビー等の感染症対策は、各文化施設のガイドラインに基づいて実施されています。

♥舞台上、楽屋等、出演者が利用するエリアの感染症対策については、各自自治体、各文化施設、

及びクラシック音楽公演運営推進協議会 & 一般社団法人日本管打・吹奏楽学会（2020 年 8 月 17 日）『クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書』に基づいて実施しています。



第62回定期公演（第1回関西定期公演）

フロラン・シュミット生誕150年シリーズ

2020年10月15日（木）19時開演 住友生命いずみホール

オネゲル：交響曲第2番

約23分

フロラン・シュミット：ジャニアナ —弦楽のための交響曲—

約15分

～ 休憩20分 ～

ルーセル：シンフォニエッタ

約9分

イベール：協奏交響曲 —オーボエと弦楽のための—

約30分

指揮：中原 朋哉
オーボエ：吉村 結実

大阪府出身。東京音楽大学、パリ地方音楽院を卒業。第9回東京音楽コンクール第3位、第10回東京音楽大学コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール第1位受賞。ソリストとして日本センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。

オーボエを高山郁子、宮本文昭、古部賢一、ノラ・シスモンディの各氏に、イングリッシュホルンをクリストフ・グランドエル氏に師事。

兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て、現在 NHK 交響楽団首席オーボエ奏者。



プログラム・ノート

中原 朋哉

本日のプログラムは、スイスの指揮者パウル・ザッハー（1906～1999）が委嘱した数多くの作品の中からオネゲルとイベールの作品と、25名の女性のみに編成されたパリの弦楽オーケストラ「オルケストル・フェミニナン・ドゥ・パリ（OFDP）」と、フランス初の女性指揮者ジャヌ・エヴラール（1893～1984）のために作曲されたフロラン・シュミットとルーセルの作品で構成されている。

ザッハーは、スイスの大手製薬会社オナーの未亡人と結婚したことで多くの財産を手に入れた。その財産によって、ストラヴィンスキー『弦楽のための協奏曲（バーセル協奏曲）』やバルトーク『弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽』、『ディヴェルティメント』、オネゲル『交響曲第2番』、『第4番「バーゼルの喜び』』、ヒンデミット、ヘンツェ、ブーレーズ、武満徹といった作曲家たちに委嘱した。それらの多くは、パウル・ザッハーが1926年に設立したバーゼル室内管弦楽団と共に初演され、現在、室内オーケストラのための重要なレパートリーとなっている。

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION



主催：シンフォニエッタ 静岡 合同会社シンフォニエッタ
助成：日本音楽財団（日本財団助成事業）
後援：在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本 静岡県